



なぜ……

新川のゴミ

ゴミ対策の欠陥。だからチリ・あくたは流すしかなかった。「ゴミを流すな、と言われても毎日出るゴミを置いておくわけにもゆかず、流すしかないではないか！」

そういう市民の声がゴミの週二回収を実現させた。

そして、昨年12月の「市長への手紙」ゴミ袋の無料について活発な意見が寄せられた。それは単にゴミ袋の無料、有料の是非についての意見でなく、衛生思想の高まり、その確かな芽ばえだった。――昔のような美しい新川にしたい。終戦後まで美しい流れて、水遊び、魚釣り、貝掘りなど、子供には絶好の遊び場であった。少年時代がなつかしい。思い出の川であると同時に美田を養ってきた川である。

うしないつつあるふるさと……
いつまでもここにのこるふるさと……
しぜんがあるふるさと……

大切にしたい。